

発刊日 平成 26 年 9 月 9 日

# 奈良体育学会会報

第 74 号 発行 奈良体育学会

事務局：天理大学体育学部（〒632-0071 天理市田井庄町 80）

## 学会大会案内号

今回の会報では、11 月 29 日（土）に予定されている研究大会案内が主な内容となっています。また、理事会報告（平成 25 年度第 3 回理事会、平成 26 年度第 1 回・2 回理事会）も掲載しています。

### 会長就任のご挨拶

中谷敏昭（天理大学）

会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、奈良体育学会の活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

この度、2014～2015 年度役員選挙後の理事会におきまして、井上前会長の後を受け会長を務めさせていただくこととなりました。これからの 2 年間、新役員と会員の皆様方のご支援を賜りながら奈良体育学会の発展に尽くして参りたいと存じます。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

さて、2013 年 9 月の IOC 総会において、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が決定し、国民に大きな夢と希望を与えました。両大会の開催は、国民がスポーツに親しむ機会を広げるとともに、スポーツを通じた国際親善に大変意義深い大会となるはずです。昨年の奈良体育学会大会では、地域のスポーツクラブが担う「新しい公共」というテーマでシンポジウムが開催されました。スポーツの振興を進める上では、地域スポーツの発展は欠かせません。

近年、グローバル化とローカリゼーションの融合が叫ばれています。全国と地方、異文化の連携、多様なシーズとニーズを基礎とした融合がスポーツの新たな価値観を生み出すことでしょう。スポーツのグローバル化に対するアンチテーゼとして、奈良体育学会が果たすローカリゼーションの役割として、学会の活動を活発にしていきたいと思っております。ご承知のとおり、奈良体育学会は会員 110 数名の小さな学会です。スポーツ、体育、健康を架橋する新たな活動や地域との連携もさらに必要になると思っております。小さな学会だからこそできる「発信」に対して、皆様方の更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

Where there's a will, there's a way !

## 平成 26 年度奈良体育学会大会のお知らせ

### 開催要領

期 日：平成 26 年 11 月 29 日（土）

会 場：奈良女子大学・理学部 G 棟 1 階 G101 教室

日 程：12：00 ～ 受付

12：30 ～ 総会、一般研究発表、公開シンポジウム

17：00～ 懇親会（奈良女子大学 生協食堂を予定）

（演題数により変更があります。午前中から実施することもあります。）

## 公開シンポジウム

テーマ：「スポーツのススメ」

今年は1964の東京オリンピックからちょうど50年目の節目の年にあたります。いまやスポーツはグローバルな文化として世界中の人びとに享受されていますが、日本のスポーツを取り巻く状況はこの50年間でどう変わったのでしょうか。少子高齢化や自然災害といったひじょうに大きな問題以外にも、わたしたちの生活の変化そのものがスポーツの実施を困難にしている側面もあるように思います。今後もわたしたちがスポーツを楽しむためには何が必要なのでしょうか。本シンポジウムではじっさいにスポーツを指導しておられるシンポジストの方々にそれぞれの現場が抱える問題を語っていただき、そこから今後のスポーツ指導の課題と展望を探ってみたいと考えています。

シンポジスト：

- 1) 岡澤哲子先生（帝塚山大学）
- 2) 浦井善宏先生（添上高等学校校長）
- 3) 井上邦子先生（奈良教育大学）
- 4) 星野聡子先生（奈良女子大学）

司会：松井良明先生（奈良工業高等専門学校）

## 参加申し込み・研究発表申し込み

申し込み期限：平成26年10月24日（金）

申し込み先：〒632-0071 天理市田井庄町80 天理大学体育学部 松本 宛

電話&FAX：0743-63-2804

Eメール：n-matsu@sta.tenri-u.ac.jp

<発表申し込み様式など>

- \* 研究発表をされる方は、「発表者（共同研究者を含む）」「テーマ」、それに「約100字程度の内容説明」「キーワード（3語）」をつけてください。
- \* 「奈良体育学会大会参加・発表申し込み用紙」（別紙）をお使い下さい（ファックス／郵送）。あるいは、必要項目をメールで事務局にお知らせ下さっても結構です。
- \* 発表された方は、下記の「研究年報原稿依頼」の要領で、必ず研究年報に投稿して下さい。

<プログラム・大会要項など>

詳細なプログラムの内容や学会大会要項につきましては、次回会報でご案内致します。

## 研究年報原稿依頼

奈良体育学会では、会員の皆様からの「奈良体育学会研究年報」への投稿をお待ちしております。学会大会で発表していない論文も、「誌上発表論文」として掲載します。

締め切り：平成27年1月30日（金）【消印有効】

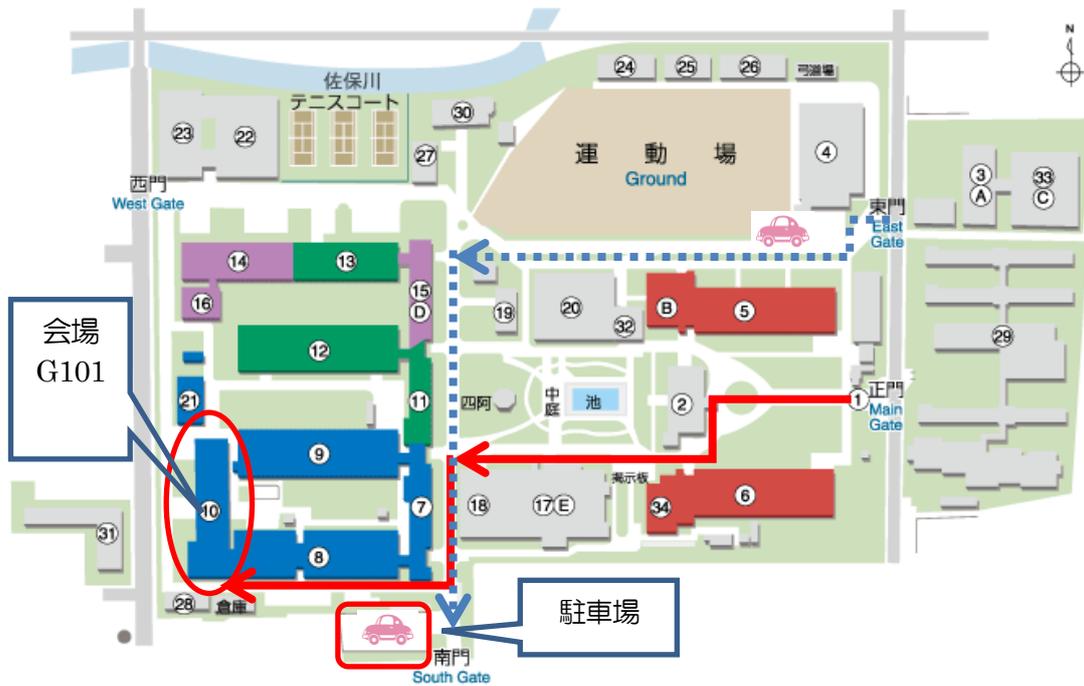
提出先：奈良体育学会事務局（天理大学体育学部 松本宛）

- ※ CD-ROMなどの媒体と（添付ファイル可）、プリントアウトした印刷物とをご提出下さい。折り返し受領のお知らせをしますので、メール等の連絡先を必ず添えて下さい。

書式：用紙A4、40字×40行 一段組、図表ともで4～6枚、上下左右の余白を20mm  
 (過去の奈良体育学会研究年報をご参照下さい。)

※ 提出いただく原稿は、オフセット印刷しますので、完成原稿をお願いします。なお、カラー印刷をご希望の方は、白黒印刷のみに加えてカラー印刷にかかった費用を実費徴収させていただきますので、事前にお問い合わせください。

平成26年度奈良体育学会大会 会場案内図



- |  |   |  |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>① 正門・守衛室 (重要文化財)<br/>Main Gate・Guardroom (Important Cultural Property)</li> <li>② 記念館 (重要文化財)<br/>Memorial Hall (Important Cultural Property)</li> <li>③ 本部管理棟<br/>Administration Hall</li> <li>④ 講堂<br/>Auditorium</li> <li>⑤ 文学系N棟・国際交流センター<br/>N Hall (Faculty of Letters)<br/>International Exchange Center</li> <li>⑥ 文学系S棟<br/>S Hall (Faculty of Letters)</li> <li>⑦ 理学系A棟<br/>A Hall (Faculty of Science)</li> <li>⑧ 理学系B棟<br/>B Hall (Faculty of Science)</li> <li>⑨ 理学系C棟<br/>C Hall (Faculty of Science)</li> <li>⑩ 理学部G棟<br/>G Hall (Faculty of Sciences)</li> <li>⑪ 生環系A棟<br/>A Hall (Faculty of Human Life and Environment)</li> <li>⑫ 生環系D棟<br/>D Hall (Faculty of Human Life and Environment)</li> <li>⑬ 生環系E棟<br/>E Hall (Faculty of Human Life and Environment)</li> <li>⑭ 大学院E棟<br/>E Hall (Graduate School of Humanities and Sciences)</li> <li>⑮ 大学院F棟<br/>F Hall (Graduate School of Humanities and Sciences)</li> <li>⑯ 総合研究棟H棟・臨床心理相談センター<br/>H Hall (Integrated Projects Research)<br/>Center for Clinical Psychology</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>⑰ 附属図書館<br/>University Library</li> <li>⑱ 総合情報処理センター<br/>Computing and Networking Center</li> <li>⑲ 保健管理センター<br/>Health Care Center</li> <li>⑳ 学生会館<br/>University Union</li> <li>㉑ R・I 総合実験室<br/>Radioisotope Laboratory</li> <li>㉒ 第1体育館<br/>First Gymnasium</li> <li>㉓ 第2体育館<br/>Second Gymnasium</li> <li>㉔ 文化系サークル共用施設<br/>Club House</li> <li>㉕ 音楽棟<br/>Music Hall</li> <li>㉖ 課外活動サークル施設<br/>Facilities for Extracurricular Activities</li> <li>㉗ 合宿所<br/>Training Camp House</li> <li>㉘ 埋蔵文化財調査室<br/>Archaeology Research</li> <li>㉙ 寄宿寮・国際学生宿舎<br/>Dormitory/International Student House</li> <li>㉚ 佐保会館 (同窓会)<br/>Alumni Hall</li> <li>㉛ 国際交流会館<br/>International House</li> <li>㉜ 国際交流プラザ<br/>International Plaza</li> <li>㉝ コラボレーションセンター・共生科学研究センター<br/>Collaboration Center<br/>KYOUSEI Science Center for Life and Nature</li> <li>㉞ 大学ラウンジ<br/>Lounge</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>A 総務・企画課、財務課、施設企画課<br/>General Affairs and Planning Division,<br/>Financial Division, Facility Planning Division</li> <li>B 国際課<br/>International Division</li> <li>C 研究協力課<br/>Research Cooperation Division</li> <li>D 学生センター<br/>Center for Student Services<br/>学務課 (2階)<br/>Educational Affairs Division<br/>学生生活課、入試課 (1階)<br/>Student Support Division,<br/>Entrance Examination Division</li> <li>E 学術情報課<br/>Library and Information Division</li> </ul> |
|--|---|--|

# 理事会報告

## I. 平成 25 年度 第 3 回奈良体育学会理事会

日時：平成 25 年 12 月 7 日（火）11 時 30 分～12 時 30 分

場所：奈良女子大学 N 棟 123 室

出席：井上、中谷（昭）、松井、藤原、立、高橋

欠席：中谷（敏）、岡澤、高田

（順不同、敬称略）

### <議 題>

#### 1. 新会員の承認

日本体育学会会員（奈良地域会員）

西谷直樹（奈良教育大学大学院） 推薦：立正伸（H25.7）

奈良体育学会のみの新入会員：

備前嘉文（天理大学） 推薦：中谷敏昭(H25. 11)

他地域から転入

石坂友司（奈良女子大学）東京より

乾 順紀（益田永島学園明誠高等学校）兵庫より

中田大貴（奈良女子大学）東京より

山本大輔（天理大学）大阪より

松島剛史（立命館大学）滋賀より

#### 2. 日本体育学会 第 67 回大会の主管校について

日本体育学会 学会担当理事の田畑氏から、第 67 回大会の主管校を大阪体育大学が引き受けたいとの申し出があったが、奈良地域で主管校に立候補する大学があるかとの問い合わせがあった。ないと回答することとする。

#### 3. 平成 25 年度 奈良体育学会総会議事の確認

#### 4. 平成 26～27 年度 奈良体育学会役員選挙について

- ・選挙管理委員会を、事務局に設置する。
- ・3月初旬に投票用紙等を発送する（研究年報に同封）。

#### 5. 次期の事務局について

- ・天理大学に事務局を置く
- ・新旧理事会は、奈良教育大学で行う。

#### 6. H25 年度学会シンポジウムの会報掲載について

テープ起こしの作業は、学生が行う。（規定のバイト料を支払う。）

### <報告事項>

#### 1. 日本体育学会事務局からの問合せ

(1)新規入会手続きの変更：従来の入会手続き（地域事務局を経由して本部登録）を変更

本部に直接関係書類を提出する。

(2) 入会手続きの変更ともなう入会金の取り扱い：入会手続きの変更と関連して、現行の地域事務手続きの手数料（地域 500 円、残り 500 円を本部の収入）を、入会金 1,000 円は本部収入にする。

(3) 補助金配分方法の変更：支部再編に伴う補助金の激減緩和策を本年度で終わりにして、次年度からは新たな方式での配分を行う。

- (4) 学会大会の地域ブロック・主管校の決定方法：第 67 回以降は、学会大会開催規定に従い、開催地域ブロックの順位とする。ただし、特定年に開催を希望する大学がある場合には、年度順の変更に伴って影響が予想される地域ブロックに開催年度順の変更を打診するなど、学会大会委員会で調整する。

メール審議の結果、2013 年 10 月に下記の通り回答した。

- (1)賛成, (2)賛成, (3)反対 (ただし、申請時期など、申請方式の内容による) , (4)賛成

## II. 平成 26 年度 第 1 回奈良体育学会理事会

平成 26 年度 第 1 回奈良体育学会拡大 (新旧合同) 理事会

日時：平成 26 年 4 月 21 日 (月) 18 時～19 時 30 分

場所：奈良教育大学 保健体育演習室

出席：高橋、井上、藤原、中谷 (敏)、星野、岡澤 (哲)、寺田、(事務局：高田、立、松本)

欠席：中谷 (昭)、岡澤 (祥)、松井

### <報告事項>

#### 1. 平成 26-27 年度役員選挙結果について (奈良体育学会選挙管理委員会より)

投票 15 通 (理事選挙 有効投票総数 97 票 / 監事選挙 有効投票数 27 票)

##### ・理事候補 (7 名)

高橋豪仁 (11 票)、中谷敏昭 (10 票)、藤原素子 (10 票)、松井良明 (10 票)、  
星野聡子 (6 票)、岡澤哲子 (4 票)、寺田和史 (4 票)、

【次点】高田俊也・田里千代・立正伸・中田大貴・備前嘉文 (3 票)

##### ・会計監査候補 (2 名)

梅崎さゆり (2 票)、中田大貴 (2 票)

【次点】高德希・立正伸 (2 票)

星野氏が 4 票だったが、理事選挙で選出された。梅崎氏、高德氏、立氏、中田氏が 2 票で同票だったので、選挙管理委員会において籤引きをし、梅崎氏と中田氏が選出された。

#### 2. 会員の動向

2014 年 4 月 1 日現在 会員 114 名 (その内、奈良体育学会のみ 9 名)  
名誉会員 7 名

2013 年度末 退会 篠原信一、前原潔、中井隆司、上野佳男、王偉、  
大島悠 (東海へ)、服部明子(故：2014 年 1 月 30 日)

住所不明者 (平成 25 年度会費納入済みの会員のみ。年報が返送されてきた方。)

伊藤道郎、上江洲隆裕、王国譜、関智美、武澤実穂、乾順紀

#### 3. 日本体育学会 名誉会員の推薦

平成 27 年度からは名誉会員の対象年齢が 70 歳へ引き下げられ、平成 27 年 3 月 31 日現在で、年齢 70 歳以上、会員歴 30 年以上の条件を満たす会員が対象となる。平井先生が、日本体育学会理事会が推薦する候補者になっている。奈良地域から「名誉会員推薦用紙」を事務局に提出した。

#### 4. 学会大会参加登録システム

第 64 回大会 (2013 年@立命館大学) で用いられた参加登録システムの汎用版は、日本体育学会の「地域」・「専門領域」においても使用可能であり、活用を検討する場合は、問い合わせ下さいとの連絡が

日本体育学会事務局からあった。(H26年1月)

<議 題>

1. 平成25年度活動報告

(1)奈良体育学会会報発行

第72号 - 学会大会案内号(1)

第73号 - 学会大会案内号(2)

(2)平成25年度奈良体育学会総会・学会大会

期日：平成25年12月7日(土)

場所：奈良女子大学

参加者：80人(学会員20人、学会員以外60名)

(3)奈良体育学会研究年報第18号発行

(4)次期(平成26・27年度)役員選挙

2. 平成25年度決算案

平成25年度奈良体育学会一般会計報告書

H26.4.1

<収入>		(単位 円)		
項目	予算額	決算額	比較増減	備考
会費	183,000	166,000	17,000	108名分+入会金(5名分) ※内1名、会費2年分納入(平成25・26年度分)
補助金	50,000	54,900	△ 4,900	本部より
雑収入	67,321	92,321	△ 25,000	H25年4月3日 担保定額貯金満期受取 研究年報カラー印刷代(著者負担)
利子	0	59	△ 59	
当期収入合計	300,321	313,280	△ 12,959	
前年度繰越金	216,259	216,259	0	
合計	516,580	529,539	△ 12,959	

<支出>		(単位 円)		
項目	予算額	決算額	比較増減	備考
会議費	15,000	16,874	△ 1,874	
事務費	10,000	3,686	6,314	
通信費	50,000	36,800	13,200	
学会大会・例会費	20,000	17,000	3,000	
研究年報作成費	140,000	171,622	△ 31,622	
アルバイト料	20,000	4,000	16,000	
講演謝礼	60,000	40,000	20,000	
予備費	201,580	150,000	51,580	基金へ(H25年7月19日 担保定額貯金預入)
当期支出合計	516,580	439,982	76,598	
次年度繰越金	0	89,557	△ 89,557	
合計	516,580	529,539	△ 12,959	

平成25年奈良体育学会基金報告書

H26.4.1

前年度繰越金		収入			支出	現在高	備考
	積立金	利息					
417,000	150,000	321	67,321	500,000	H26.3.31現在高		
付記: H25/4/3 担保定額貯金(H15/4/3預入 67,000円)満期受取 67,321円 H25/7/19 担保定額貯金新規預入(証書番号6) 150,000円							

3. 平成26・27年度新役員を選出及び事務局体制について

理事候補7名が理事となり、種々議論の結果、互選により以下の役員体制が承認された。

会長：中谷敏昭

副会長：藤原素子

理事長：寺田和史

なお、理事長より、庶務幹事に松本範子、会計幹事に寺田和史の指名があり、承認された。

4. 平成 26 年度事業計画案  
 (1) 奈良体育学会会報発行  
     第 74 号 (平成 26 年度新役員紹介・学会大会案内)  
     第 75 号 (平成 26 年度奈良体育学会大会プログラム)  
 (2) 平成 26 年度奈良体育学会総会・学会大会  
 (3) 奈良体育学会研究年報第 19 号発行
5. 平成 26 年度予算案  
 旧事務局から新事務局に原案を提示し、次回の理事会で検討する。
6. 平成 26 年度の学会大会、総会について  
 期日：2014 年 11 月 29 日 (土)  
 場所：奈良女子大学  
 内容：一般発表、シンポジウム等。詳細については今後検討する。

### Ⅲ. 平成 26 年度 第 2 回奈良体育学会理事会

日時：2014 年 7 月 31 日 (木) 18 時～  
 会場：天理大学体育学部 会議室  
 出席：中谷、藤原、松井、高橋、星野、寺田、(事務局：松本)  
 欠席：岡澤 (委任状提出) (順不同、敬称略)

<報告事項> 特になし

<議 題>

#### 1. 新入会員の承認

日本体育学会会員 (奈良地域会員)

梅本麻実 (ウメモトマミ) 奈良女子大学大学院 推薦：藤原素子(2014.5)

飯田あや (イイダアヤ) 奈良女子大学大学院 推薦：成瀬九美(2014.5)

入会が承認された。

#### 2. 平成 26 年度予算について

予算案について承認された。

平成 26 年度 奈良体育学会予算案		
[一般会計]		
<収入>		
前年度繰越金	¥89,557	
会費	¥166,000	H25 年度年度会費納入者金額
補助金	¥50,000	本部より
雑収入	¥0	
利子	¥0	
合計	¥305,557	
<支出>		
会議費	¥15,000	
事務費	¥10,000	
通信費	¥40,000	
学会大会・例会費	¥20,000	
研究年報作成費	¥140,000	
アルバイト料	¥20,000	
講演謝礼	¥60,000	
予備費	¥557	
合計	¥305,557	

### 3. 平成 26 年度奈良体育学学会大会について

- ・ 日程：11 月 29 日（土）
- ・ 場所：奈良女子大学理学部 G 棟 1 階 G101 教室
- ・ 当日の予定（案）
  - 11:00～ 理事会（奈良女子大学内）
  - 12:00～ 受付
  - 12:30～ 総会
  - 13:00～ 一般発表
  - 15:00～ 公開シンポジウム
  - 17:00～ 懇親会（奈良女子大学生協、会費：3 千円）
- ・ 受付業務は天理大学が担当する。
- ・ 会場の準備（マイク・プロジェクターなど）は奈良女子大学が担当する。
- ・ シンポジウムの貼り紙・案内掲示等は天理大学が準備する。
- ・ 参加申し込み・研究発表申し込みの方法は前年度同様のやり方で、天理大学体育学部の学会事務局へ。
- ・ 一般発表者は研究年報に投稿すること。また、本年度も研究年報に紙上発表論文の掲載を認める。
- ・ 研究年報のカラー刷り費用については「著者負担」とする案内を会報に掲載する。
- ・ 研究年報の発行、学会開催等に伴う経費の負担を減らすため、日本体育学会の補助金制度を積極的に活用する。
- ・ 今年度の公開シンポジウムも、昨年度同様に奈良女子大学の地域貢献事業とタイアップして行う。
- ・ スケジュールは一般発表演題数などにより適宜変更する。

#### 公開シンポジウムについて

- ・ テーマ「スポーツのススメ」
- ・ 司 会：松井良明（奈良工業高等専門学校）
- ・ シンポジスト：岡澤哲子先生（帝塚山大学）  
浦井善宏先生（添上高等学校校長）  
井上邦子先生（奈良教育大学）  
星野聡子先生（奈良女子大学）

以上の各項目が承認された。

- 4. 日本体育学会からの補助金配分（案）への意見  
日本体育学会の提案を認める方向で意見集約された。
- 5. その他  
特になし。

### ※ 日本体育学会から自動的に年会費が引き落とされない会員の皆様へ

平成 26 年度の年会費をお納め下さい。年会費は 1,500 円です。

なお、2 年続けて年会費を納入しない正会員は退会とさせていただきます。

【年会費振込先】 郵便振替 口座番号 01000-2-28169  
加入者名 奈良体育学会

## 平成 26 年度 奈良体育学会大会参加・発表申込用紙

氏 名 (所属)	( )
----------	-----

**参加希望** (※該当する方に○印を記入してください)

学会大会に →   参加する                      参加しない

研究発表を →   する                                      しない

懇親会に    →   参加する                      参加しない

一般発表をされる方は、以下に記入願います (一題一葉で)。

演題名
発表者氏名 (所属)   【連名で発表の場合は演者に○印】
連絡先 住 所 〒 _____ <div style="text-align: right; margin-right: 100px;">TEL _____ ( ) _____</div> 氏名 _____ FAX _____ ( ) _____ <div style="text-align: right; margin-right: 100px;">E-mail _____</div>
発表要旨 (100字程度) [キーワード: _____ ]
発表時に使用する機材 (該当番号に○印) 1. 使用しない   2. パワーポイント   3. ビデオ (VHS)   4. その他 ( )